第21回 食育推進全国大会 in とちぎ

とちぎからつながる恵みの輪

～作って 食べて 学んで 食育で未来を拓こう～



2026年6月6日(土)

マロニエプラザ(栃木県立宇都宮産業展示館)
栃木県宇都宮市元今泉6-1-37

開催結果報告書

主催:農林水産省、栃木県

後援:内閣府、消費者庁、こども家庭庁、文部科学省、厚生労働省、全国知事会、全国都道府県議会議長会、全国市長会、全国市議会議長会、全国町村会、全国町村議会議長会






トマト








推進全国大会
in
学んで






STAFF














推進全国大会
食べて
食育







目次

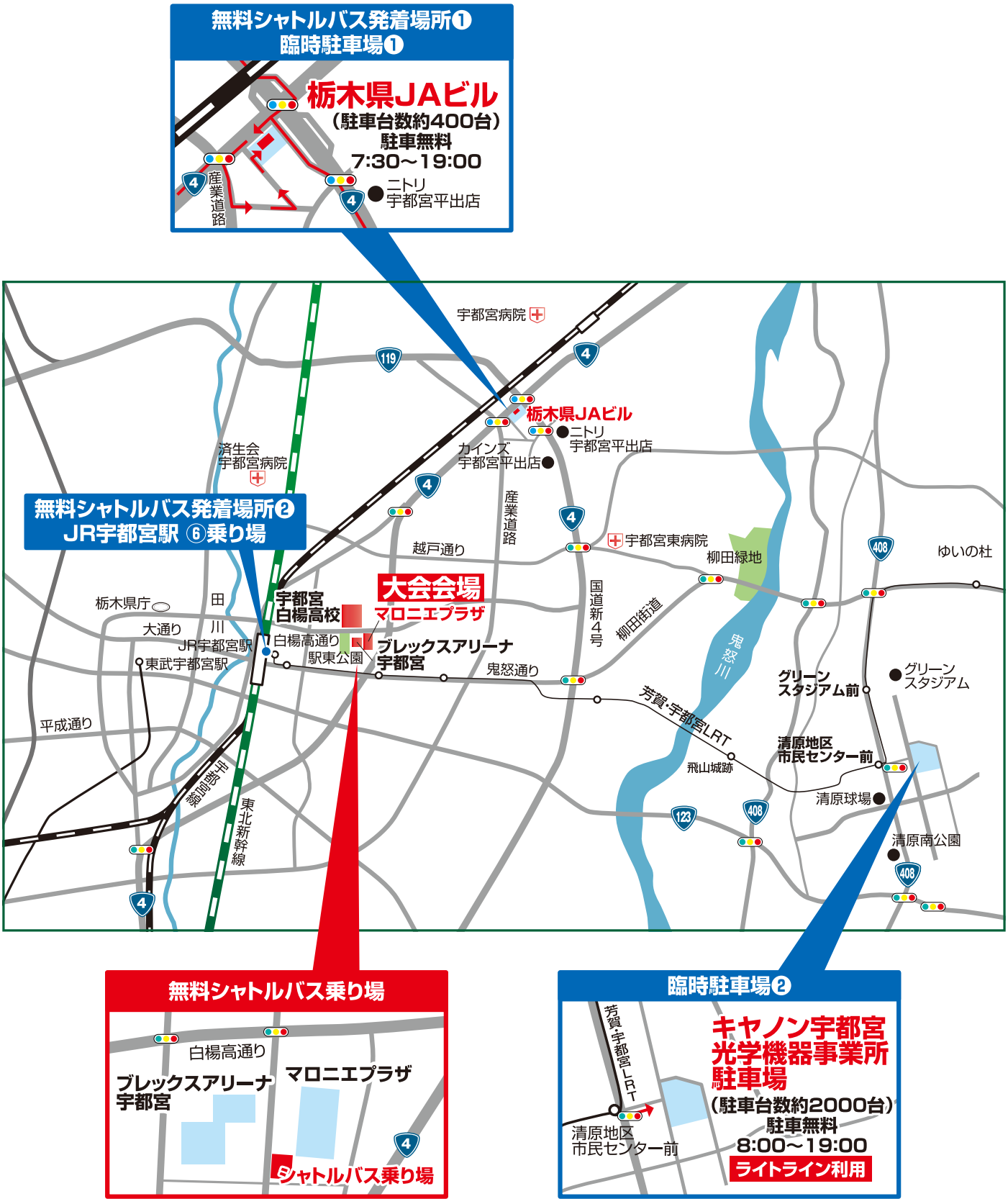
開催概要	2
会場アクセス	3
プログラム	4
会場レイアウト	8
大会ツール	9
みのりステージ	13
きずなステージ	21
ワークショップ・セミナー・体験コンテンツ	23
47都道府県食育ポスター展示	25
ブレックスアリーナ宇都宮	27
マロニエプラザ ブースレイアウト	29
マロニエプラザ ブース出展一覧	30
出展ブース	34
キッチンカー	54
休憩所　飲食スペース	55
フォトスポット	55
ボランティアスタッフの積極的な参画	55
会場アクセス	56
LIVE配信 アーカイブ配信	57
アンケート方法と回答者属性	58
アンケート結果	59
広告展開一覧	61
報道実績	72
とちぎ食育推進連絡会による大会企画の検討	75
大会協賛	76



開催概要

大会名称	第21回 食育推進全国大会 in とちぎ
開催日時	令和8（2026）年6月6日（土）10：00～17：00
会場	マロニエプラザ（栃木県立宇都宮産業展示館） 〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-1-37 ブレックスアリーナ宇都宮 〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-1-18 栃木県立宇都宮白楊高等学校 〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉8-2-1
大会テーマ	とちぎからつながる恵みの輪～作って 食べて 学んで 食育で未来を拓こう～
目的	国の食育推進基本計画及び第５期栃木県食育推進計画「とちぎ食育元気プラン2026-2030」の目標達成に向けた全国規模での機運醸成を図るとともに、とちぎの食と農の魅力を県内外に向けて発信する場として、栃木県ならではの特色ある有意義な大会を目指す。
コンセプト	食と農のつながりを体感/食が育む健康なこころとからだ/とちぎの多彩な食の魅力を発信
主な内容	トークショー / セミナー / 調理イベント / 体験イベント / ブース（展示・試食・物販等）/ 式典等
出展団体者数	162団体
来場者数	約16,000人
主催	農林水産省 / 栃木県
後援	内閣府、消費者庁、こども家庭庁、文部科学省、厚生労働省、全国知事会、全国都道府県議会議長会、全国市長会、全国市議会議長会、全国町村会、全国町村議会議長会

会場アクセス


無料シャトルバス発着場所❶
臨時駐車場❶
栃木県JAビル
（駐車台数約400台）
駐車無料
7:30～19:00
ニトリ
宇都宮平出店
産業道路
無料シャトルバス発着場所❷
JR宇都宮駅 ⑥乗り場
宇都宮病院
栃木県JAビル
ニトリ
宇都宮平出店
カインズ
宇都宮平出店
済生会
宇都宮病院
越戸通り
宇都宮東病院
柳田緑地
ゆいの杜
大会会場
マロニエプラザ
宇都宮
白楊高校
栃木県庁
田
大通り
川
JR宇都宮駅
白楊高通り
駅東公園
ブレックスアリーナ
宇都宮
東武宇都宮駅
鬼怒通り
国道新4号
柳田街道
鬼怒川
グリーン
スタジアム前
グリーン
スタジアム
芳賀・宇都宮LRT
清原地区
市民センター前
飛山城跡
清原球場
清原南公園
平成通り
東北新幹線
119
4
123
408
無料シャトルバス乗り場
白楊高通り
ブレックスアリーナ
宇都宮
マロニエプラザ
シャトルバス乗り場
臨時駐車場❷
芳賀・宇都宮LRT
清原地区
市民センター前
キヤノン宇都宮
光学機器事業所
駐車場
（駐車台数約2000台）
駐車無料
8:00～19:00
ライトライン利用

プログラム

マロニエプラザ | みのりステージ（メインホール）

10:10〜11:10 開会式・食育活動表彰

大会の幕開けを飾る式典

11:10〜11:25 オープニングアクト

宇都宮ブレックスチアリーダーBREXY

会場の1つであるブレックスアリーナ宇都宮を本拠地に活動する
宇都宮ブレックス チアリーダーBREXYによるステージショー



11:35〜11:55 食育キャプテン委嘱式

食べて強くなろうプロジェクト

本県にゆかりのある7つのスポーツチームに委嘱している
「食育キャプテン」に今回新たに3チームが加わります

三重ホンダヒート※ / 栃木シティ / レーヴィス栃木

●当日の参加チームはレーヴィス栃木のみとなります。
※令和8年7月1日から「栃木ホンダヒート」へ名称変更

12:30〜13:30 藤本美貴トークショー

ミキティ流無理しない食と健康づくり

パパママ世代から絶大な支持を誇る藤本美貴さん
によるスペシャルトークショーが実現！

※ブレックスアリーナ宇都宮主競技場でパブリックビューイング（PV）を実施します。
こちらは整理券は不要です。2階の観客席からご覧ください。



TICKET 整理券配布／10:00〜

配布場所
マロニエプラザ正面入口付近

14:00〜15:00 from TOCHIGI とちぎ育ち のうんまいもの！クッキングショー

試食あり

ホテルエピナール那須 荒井総料理長がU字工事と初タッグ！
県産農産物の魅力を調理しながら語り合います。

※先着60名様に試食あり



TICKET 整理券配布／11:00〜

配布場所
マロニエプラザ正面入口付近

15:45〜16:00 引継式

16:20〜16:50 歌う海賊団ッ！ステージショー

栃木のファミリーに大人気！「歌う海賊団ッ！」が大会に現れる♪



©ウタウ☆カイゾクダンッ！

プログラム

マロニエプラザ　きずなステージ(展示ホール)

10:30～11:00

栃木県女性農業士会&
栃木県農業士会 presents

食育紙芝居「牛さんからのプレゼント」

牛乳ができる過程や乳牛の秘密など、
楽しく学べます。



参加者に 数量限定 栃木県産 米2合 プレゼント

整理券配布／10:00～

配布場所
きずなステージ入口

90名限定

11:15～12:45

栃木県保健福祉部 健康長寿推進課

自然に健康になれる とちぎ食の環プロジェクト

知事宣言&シンポジウム



健康で持続可能なとちぎの食環境づくりをスタート！



「食べること」を根幹とした活力ある持続可能な社会(まち)の実現に向け、「オールとちぎ」で本県の食環境づくりに取り組むための知事宣言を実施します。キックオフシンポジウムでは、国の動向や県民の健康を支える自然に健康になれるとちぎの食環境づくりに取り組む事業者の事例をご紹介します。健康な食事や食品の提供に関心のある事業者の皆様、ぜひご参加ください。

13:00～14:45　事前申込　試食あり

宇都宮大学×農林水産省presents

食から考える 持続可能な農の未来
～No Farms No Future～

昭和100年記念イベント
かそべん(過疎地域の味を詰めたお弁当)を食べながら
食と農のつながりを考えよう

- 農林水産省(食育担当)
- 宇都宮大学農学部「里山キャンパス益子家」
- 東京家政大学
- 足利一すみだつながる弁当
- 鹿沼市加蘇地区なゆた会
- 茂木町森と里の つながるマルシェ実行委員会
- 高知県四万十町「おかみさん市」×いなかパイプ



15:00～16:10　試食あり

いちご研究所×栃木県みつばち協議会presents

いちご学セミナー

はちみつ食べ比べ体験は席数(81席)限定

いちご王国・栃木
ー知らなかったいちごとみつばちの関係ー



整理券配布／12:00～

配布場所
マロニエプラザ正面入口付近

プログラム

マロニエプラザ ワークショップ



生間流 庖丁式

10:30～11:30

古来より伝わる日本料理の儀式を食育推進全国大会の場で披露します。



ペーパークラフトでサイコロ型みつばちを作ろう

11:45～12:45

ペーパークラフト作りを通じて、いちご王国・栃木を支えるみつばちの仕事について学べます。



五感で学ぶ 食体験プログラム

こども模擬セリ体験

小学生3年～6年生30名限定

13:15～14:00

セリで知る、食材が届くまで。



衛生管理のプロが教える弁当の作り方セミナー

14:30～15:00

毎日のお弁当をもっと安心に。
衛生管理のプロが、家庭で役立つ弁当づくりのコツをわかりやすく教えます。



親子で食品安全を学ぼう！

15:15～16:00

～毎日の「食」を安全にする力を身につけよう～

マロニエプラザ 大展示場 南西角



栃木県農業総合研究センターpresents

のうぎょうラボ in食育大会

10:00～15:00 体験会

15:00～17:00 展示説明

※材料がなくなり次第終了

見て・さわって、農業と植物のひみつを体験！

マロニエプラザ 大展示場 屋外展示場



整理券配布

鮎つかみどり体験

整理券配布／10:00～

配布場所 屋外展示場

年長児～小学6年生 120名限定



対象：小学3～6年生 ［定員］各回15名

10:15～10:45／11:45～12:15
13:30～14:00／15:00～15:30

対象：年長児～小学2年生 ［定員］各回15名

11:00～11:30／12:45～13:15
14:15～14:45／15:45～16:15

宇都宮白楊高等学校



※画像はイメージです

事前申込

いちご料理教室

とちぎ食育応援団と親子でミルクレープ作り！

10:00～12:00 1回目

14:00～16:00 2回目

とちぎ食育応援団と一緒に県産のいちごを使って甘くておいしいミルクレープを作ります。



事前申込

たまねぎ収穫体験

五感で学ぶ 食体験プログラム

11:00～11:45 1回目

12:30～13:15 2回目

14:00～14:45 3回目

整理券配布／10:30～

学生が育てたたまねぎを収穫してみませんか？
たまねぎがどのように畑で育っているかみよう！

プログラム

ブレックスアリーナ宇都宮



事前申込

食育キャプテンと楽しく体を動かそう♪

おやこ運動遊び教室

10:30～11:30 1回目【対象：主に未就学児】
14:00～15:00 2回目【対象：小学校低学年】
15:30～16:30 3回目【対象：小学校低学年】

みんなでできる運動遊び

※未就学児対象プログラムのみ実施

県内で活躍するスポーツチームの選手、スクールコーチなどに直接教えてもらえる！

宇都宮ブレックス　H.C.栃木日光アイスバックス　栃木SC
レーヴィス栃木　栃木ゴールデンブレーブス　三重ホンダヒート

チームの指導で競技体験



栃木県女性農業士&
栃木県農業士会presents

食育カルタ

10:30～11:30 1回目【対象：主に未就学児】
14:00～15:00 2回目【対象：小学校低学年】
15:30～16:30 3回目【対象：小学校低学年】

大判カルタで元気いっぱいに遊びながら、とちぎの食と農について楽しく学ぼう！



とちキャラーズと食育○×チャレンジ！

11:50～12:15

かわいいとちキャラーズやスポーツチームのマスコットたちと、とちぎの食と農を学べる○×クイズに参加しよう！



グリーティング

13:30～13:45 1回目
15:00～15:15 2回目

とちぎの魅力を発信するカワイイキャラたちがお出迎え♪会場でふれあおう！
どのキャラと会えるかはお楽しみに♪



五ツ星お米マイスター監修

＼ 事前申込＆当日数量限定販売 ／

主役は県産米「とちぎの星」！

「とちぎの五ツ星弁当」販売

主役は、栃木県産米「とちぎの星」と、とちぎゆめポーク。
五ツ星お米マイスターが監修したその名にふさわしい一箱を、どうぞお楽しみください。

会場周遊・常設イベント



ナゾトキに挑戦してプレゼントをゲット！

とちぎ食育ナゾトキラリー＆抽選会

※景品はなくなり次第終了となります。

マロニエプラザとブレックスアリーナ宇都宮の計5箇所に設置されたナゾを解いて、県産農産物などが当たる抽選会に参加しよう！



○○とハイ！チーズ！ドデカフォトスポット

（屋外展示場／ブレックスアリーナ宇都宮）

農と農にまつわる車両がマロニエプラザにやってきます！一緒に写真を撮って大会参加の記念にいかがでしょう♬



子ども記者体験

10:30～12:30
14:00～16:00

下野新聞社の社員のレクチャーを受け、取材し、記事を作成します。
会場を自由に取材して、自分だけのニュースを記事にしましょう。
みなさんの作成した記事は、大会との連携企画として、下野新聞に掲載予定です。こちらは事前申込制です。

その他



6月7日（日）実施

事前申込

とちぎの「農」を感じる体験ツアー

とちぎの食と農にまつわる注目スポットをめぐります

［参加費］1人4,800円（税込）

Tour1　農産物満喫プラン
［主な行き先］
・大谷資料館
・夏いちご施設見学
・ベルテラシェ大谷（自由昼食）
・新里ねぎのほ場見学と体験
・道の駅うつのみやろまんちっく村



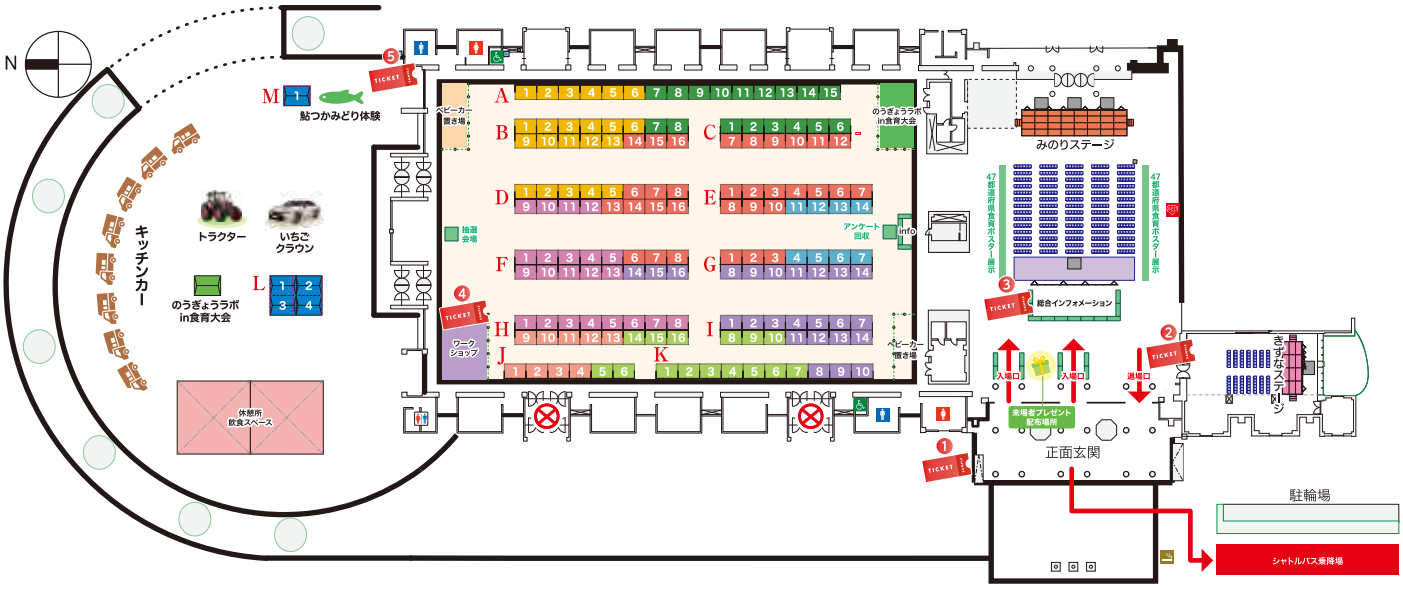
Tour2　ご当地そば満喫プラン
［主な行き先］
・鹿沼在来そばの紹介とそばのお花畑見学
・鹿沼在来そばのランチ
・そば打ち体験＋鹿沼の間伐材でティッシュボックスづくり
・まちの駅・新鹿沼宿



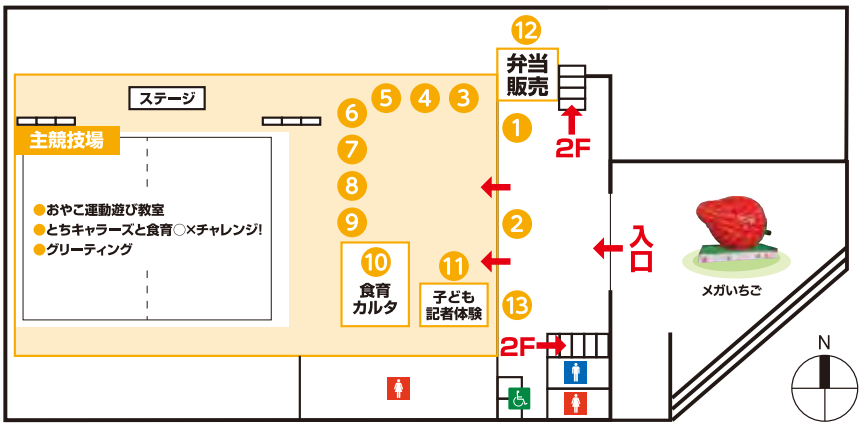
Tour3　道の駅めぐりプラン
［主な行き先］
・道の駅ましこメロン栽培見学体験（自由昼食・買物券付き）
・道の駅茂木（視察・買物券付き）

会場レイアウト

マロニエプラザ会場 レイアウト



ブレックスアリーナ宇都宮会場 レイアウト



宇都宮白楊高校会場 レイアウト



大会ツール

告知ポスター（B2）





大会ポスター（A2）



大会ツール

大会チラシ 第1弾（A4・表/裏）





大会チラシ 第2弾（A4・表/裏）



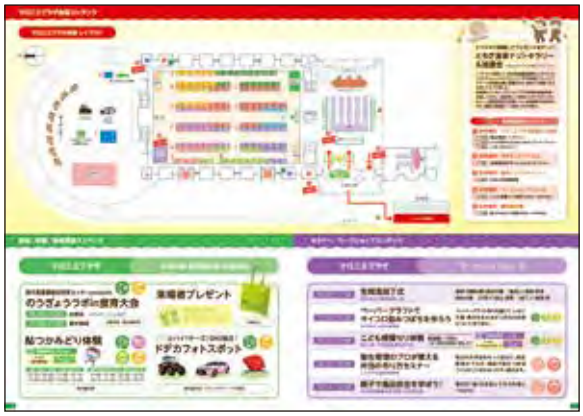


大会ツール

大会パンフレット（A4×12頁）













大会ツール

スタッフポロシャツ



オリジナルエコバッグ



ウエットティッシュ



整理券



PASS



みのりステージ　マロニエプラザメインホール

開会式 10:10～10:40

主催者挨拶（概要）

農林水産大臣　鈴木 憲和



第21回食育推進全国大会の開催に当たり、日頃から食育の推進に御尽力いただいている皆様、また大会開催に御協力いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

私に食の大切さを深く気づかせてくれたのは、生産者の皆さんをはじめ、子ども食堂で活動されている方々や、学校給食を支える栄養教諭の皆さんなど、食の現場で日々努力されている一人ひとりの存在です。東日本大震災から2か月後、福島県のお米の生産者のもとで田植えを手伝った際には、複雑な思いを抱えながらも「美味しく安全なお米を楽しみにしている消費者の皆さんに、今年も届けたい」と田植えに向き合う姿に接し、私たちの食は生産者一人ひとりの思いと努力の上に成り立っていることを改めて実感しました。

食べるということは生きるということです。食育は、食に関する知識や食を選択する力を習得し、生産者の努力や食への感謝の念を育むものでもあります。近年、食生活が大きく変化し、生産現場の実態が知られにくくなる中で、食や農林水産業への理解を深める取組がますます重要となっています。「食育基本法」の改正法の趣旨に基づき、今後5年間は、「学校等での食や農に関する学びの充実」、「健全な食生活の実現に向けた大人の食育」、「食卓と生産現場の距離を縮める取組の拡大」を重点的に進めてまいります。

全国各地で食育に取り組まれている皆様には、今後も地域における食育の輪を広げていただくことを期待しております。本大会が皆様の貴重な学びの機会となり、全国各地で食育の取組がさらに進むことを祈念し、御挨拶といたします。

みのりステージ司会進行

フリーアナウンサー
須賀 由美子 氏



きずなステージ司会進行

フリーアナウンサー
福嶋 真理子 氏



みのりステージ　マロニエプラザメインホール

主催者挨拶（概要）

栃木県知事　福田 富一



本日は全国各地から栃木県にお越しいただき、心から歓迎を申し上げます。また、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、本日6月6日は二十四節気の「芒種」にあたり、穀物の種をまく時期とされています。食育推進全国大会にふさわしい日に開催できますことを大変うれしく思っております。

本県は、半世紀以上にわたりいちごの生産量が日本一でございます。加えて、米、にら、梨、生乳、牛肉、鮎など、全国に誇れる多彩な農産物があります。しかし近年は、私たちの暮らしに欠かせない食と農とのつながりが見えにくくなり、食卓に並ぶ食べ物がどこでどのように作られ、届けられているのかを知る機会を知らない方も増えています。そのため、生涯にわたって健康で豊かな生活を支える食育の重要性はますます高まっております。

本大会では、食や農業がもたらす恵みに感謝する心を育むとともに、その重要性や地産地消の取組について消費者への理解促進を図るほか、関係者の連携強化につなげてまいりたいと考えております。会場では、「見る」「触れる」「味わう」など、五感を使って楽しく学べるさまざまな企画を御用意しました。県産農産物の魅力や生産者の思い、本県の豊かな食文化に触れていただき、産地とのつながりや食育の理解がさらに深まり、各家庭での食育実践の輪が広がることを期待しております。

結びに、本大会を契機として栃木から全国へ食の輪がさらに広がることを願うとともに、日光や那須など本県自慢の観光地へも足を運んでいただくことをお願い申し上げまして、開催県を代表しての開会の挨拶といたします。

来賓祝辞（概要）

衆議院議員　　簗　和生 氏



本日は、第21回食育推進全国大会が栃木県で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。また、鈴木農林水産大臣をはじめ農林水産省の皆様、福田知事をはじめ栃木県の皆様のご尽力に敬意と感謝を申し上げるとともに、全国からお集まりいただいた関係者の皆様を歓迎いたします。

私は、自民党の「消費者の食と農の理解醸成と行動変容に向けた施策検討プロジェクトチーム」の座長として、「食育基本法」の21年ぶりの改正に携わってまいりました。食育は20年以上にわたり各地で成果を上げてきましたが、一方で食への関心の低下や栄養バランスの乱れ、簡便志向の進行、農業体験の機会格差などの課題も見えてきています。そのため、これまでの取組を検証し、より実効性の高い食育へと発展させる必要があるとの思いで法改正に取り組みました。

今回の改正は、食料・農業・農村基本法の改正における食料安全保障の明確な位置付けや、食料システム法の成立による生産から消費までのコストの見える化という流れで進めているものです。食料安全保障を支えるためには、消費者が農業現場や生産者の苦労を理解し、食のありがたみを知り、自らの消費行動を通じて国内の生産基盤を支えていくことが重要です。

今回のこの食育推進全国大会を契機として、食育が実効性を高めて、全国各地であらゆる世代に対して十分な水準で食育が実施され、我が国の食料の安定生産につながることを心から期待しております。我々はこれからも、食と農に責任を持って食育を実行していきます。皆様方には、引き続きご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

みのりステージ　マロニエプラザメインホール

来賓祝辞（概要）

参議院議員　　上野 通子 氏



本日は、第21回食育推進全国大会の開催、誠におめでとうございます。また、全国から栃木県にお越しいただいた皆様を心より歓迎申し上げます。

今回の大会は、近年、関東では開催されていなかった全国大会を栃木県で開催しようという提案から始まりました。栃木県、農林水産省をはじめ多くの関係者のご尽力により、160ものブースが並ぶ大規模な大会として開催できましたことを大変うれしく思っております。

食育の原点は、「食べることは生きること」です。私たちは動植物の命をいただき、生産者をはじめ農業に携わる皆様の力によって生かされています。そのことへの感謝を忘れず、「いただきます」「ごちそうさま」の心を大切にすることが食育の原点であります。

一方で、大人の孤食の増加や栄養バランスの問題、子どもたちの肥満や過度なダイエットによる痩せすぎなど、食をめぐる課題は数多くあります。給食の無償化や地産地消の取組が進む今だからこそ、栄養のバランスを考えながら、楽しく、おいしく食べることの大切さを改めて発信していく必要があります。

今回の大会テーマは「とちぎからつながる恵みの輪」です。この大会を通じて、食の恵みの輪を全国へ広げるとともに、人と人、地域と地域とのつながりを深め、生きることの充実感や満足感、ウェルビーイングの向上につなげていこうではありませんか。

皆様にはどうぞ今日一日楽しんでいただき、食育の大切さを改めて考え、その成果を全国へ発信していただきたいと思います。本日は誠におめでとうございます。

来賓祝辞（概要）

栃木県議会　議長　　関谷 暢之 氏



栃木県議会を代表して一言御挨拶を申し上げます。

食育推進全国大会が、ここ栃木県で盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、全国各地からお越しいただきました皆様を歓迎申し上げるとともに、本大会の開催にご尽力いただいた関係者の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

私も皆様のお話を伺う中で、食育とは私たちの健康を支えるだけにとどまらず、生産に携わる方々を支え、地域の伝統や文化を未来へつないでいく取組であると思います。そして、「感謝の心」を育み、それを表現し、伝え、行動につなげていくということが食育の根本にあると感じました。

日本には食事の前の「いただきます」、そして食事の後の「ごちそうさま」という言葉があります。「いただきます」や「ごちそうさま」には、命をいただくことへの感謝、生産者や料理をしてくださる方々への感謝、さらには食材を集め、食卓へ届けてくださる全ての方々への感謝が込められています。こうした言葉の本当の意味を改めて共有し、世代を超えて受け継いでいくことこそ、食育の最も分かりやすく大切な姿の一つだと感じています。

栃木県は、いちごをはじめとする豊かな農産物に恵まれた食の宝庫です。しかし一方で、農業現場では人手不足など多くの課題にも直面しております。だからこそ、感謝の心を持って、国や地域全体で食育に取り組んでいくことが求められています。

本大会が全国の優れた実践や知見を共有し、食育の輪をさらに広げる機会となること、そして「いただきます」「ごちそうさま」という日本の食文化を象徴する言葉を未来へつないでいく契機となることを心から願っております。

結びに、本大会のご成功と、ご参会の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。本日はおめでとうございます。

みのりステージ　マロニエプラザメインホール

主催者紹介　※登壇者のみ、挨拶者以外

農林水産省消費・安全局長　坂 勝浩



来賓紹介　※登壇者のみ、挨拶者以外

衆議院議員　五十嵐 清 氏
衆議院議員　渡辺 真太朗 氏
参議院議員　進藤 金日子 氏
第10回食育活動表彰審査委員長　中嶋 康博 氏
食育推進評価専門委員会座長　武見 ゆかり 氏

祝　電

外務大臣　衆議院議員　茂木 敏充 氏
衆議院議員　船田 元 氏
元復興大臣　衆議院議員　土屋 品子 氏
株式会社足利銀行　頭取　清水 和幸 氏





みのりステージ　マロニエプラザメインホール

第10回食育活動表彰表彰式　10:40～11:10

農林水産省はボランティア活動、教育活動または農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動を通じた食育の取組を対象として、その功績を称えるとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開されていくことを目的として「食育活動表彰」を実施しています。

今年度は、応募のあった個人・団体のうち、特に優れていた5団体に「農林水産大臣賞」、11団体に「消費・安全局長賞」、5団体に「審査委員特別賞」を授与しました。



ボランティア部門　食生活改善推進員の部

賞	都道府県	対象者名
大臣賞	埼玉県	川口市食生活改善推進員協議会
局長賞	静岡県	東伊豆町健康づくり食生活推進協議会
局長賞	神奈川県	食生活改善推進団体ママの会

ボランティア部門　食育推進ボランティアの部

賞	都道府県	対象者名
大臣賞	東京都	東京学芸大学こどもの学び困難支援センター さくら教室学生チーム
局長賞	広島県	「ひろしま食の手帖」編集部
局長賞	宮城県	東北生活文化大学スポーツ栄養・地域活性化プロジェクト
局長賞	埼玉県	城西大学薬学部医療栄養学科 「Tokigawa Fish」
審査委員特別賞	京都府	せいか食育劇団もぐもぐ

教育関係者・事業者部門　教育等関係者の部

賞	都道府県	対象者名
大臣賞	香川県	香川県立三本松高等学校「三高みんなの食堂プロジェクト」
局長賞	茨城県	茨城大学 干し芋の残渣削減プロジェクト実行委員会(HZP)
局長賞	宮崎県	宮崎大学地域資源創成学部　食品科学研究室
審査委員特別賞	愛知県	岡崎医療刑務所食料担当

教育関係者・事業者部門　農林漁業者等の部

賞	都道府県	対象者名
大臣賞	宮城県	NPO法人鳴子の米プロジェクト
局長賞	埼玉県	さいたまヨーロッパ野菜研究会
局長賞	岐阜県	めぐみの農業協同組合　春里支店
審査委員特別賞	石川県	株式会社なっぱ会

教育関係者・事業者部門　企業の部

賞	都道府県	対象者名
大臣賞	大阪府	株式会社京阪百貨店
局長賞	広島県	株式会社cica
局長賞	東京都	森永製菓株式会社
審査委員特別賞	東京都	大塚製薬株式会社
審査委員特別賞	岐阜県	厚生産業株式会社

みのりステージ　マロニエプラザメインホール

審査委員長講評（概要）

第10回食育活動表彰審査委員会
委員長　中嶋 康博 氏



第10回食育活動表彰では、全国の都道府県などから推薦された157件を対象に審査を行い、その中から優れた21団体の食育活動を表彰することとなりました。本日ご受賞された皆様に心からお喜びを申し上げます。

審査委員会では、先進性、継続性、有効性、波及性、実践性の5つの観点に加え、第4次食育推進基本計画の重点課題の解決に資する活動であるか、地域との連携のもとで目的や目標を明確にし、企画・実施・評価を行っているかといった点について、審査員の間で熟議を重ねました。審査を通じて、この第４次計画期間において多くの実績が積み重ねられてきたことを実感いたしました。

また、受賞された取り組みからは、これからの食育活動にとって重要な示唆を数多く得ることができました。世代をつなぐ縦のつながり、地域をつなぐ横のつながりを紡ぐこと、文化を大事にしつつ文化の壁を越える挑戦をすること、情報技術を活用すること、食べ物を作る現場に向き合い共感すること、そして同じ志を持つ仲間とともに取り組むことなどでございます。

食育基本法が改正され、現在、次期食育推進基本計画の取りまとめが進められておりますが、そのような新しい時代に向けた食育はすでに始まっていると感じております。今回受賞された皆様の、食に真摯に向き合い多くの学びを得ようとされた取り組みは、私たちの幸せな生活と豊かな社会の実現につながるものではないかと思っております。審査をしていて、それぞれの活動に参加した方々の笑顔が見えるような印象を持ちました。今回の表彰を契機として、全国でさらに新たな食育の挑戦が生まれることを祈念いたします。

オープニングアクト

11:17～11:27

栃木県が「食育キャプテン」として委嘱する宇都宮ブレックスのチアリーダー「BREXY」による華やかなパフォーマンスで大会を彩った。





食育キャプテン委嘱式　11:35～11:55

栃木県にゆかりのある７つのスポーツチームに委嘱している「食育キャプテン」に今回新たに3チームが加わった。





《委嘱チーム》

- 三重ホンダヒート（ラグビー）
  ※令和８(2026)年７月１日から「栃木ホンダヒート」へ名称変更
- 栃木シティ（サッカー）
- レーヴィス栃木（バレーボール）
  ※当日参加したチームはレーヴィス栃木のみとなります。

《食育キャプテンとは》

体づくりに欠かせない食の重要性を自らの体験に基づき、こどもたちに直接伝える活動を行う、本県にゆかりのあるスポーツチームのこと

みのりステージ　マロニエプラザメインホール

藤本美貴トークショー　12:30 ～13:30



3児の母であり、等身大の育児スタイルが多くの共感を集める「ミキティ」こと藤本美貴氏をゲストに迎え、日々の食卓や家族とのコミュニケーション、健康管理の秘訣についてのトークショーが開催された。

かつて栃木米のイベントにも出演経験がある藤本氏は、栃木の農産物の豊かさを絶賛。「献立はあらかじめ決めずその日の気分で決める」というスタイルで、週に一度のまとめ買い食材を使い切る工夫や、忙しい時は野菜たっぷりの味噌汁や豚汁一品で栄養を整える「ミキティ流」の献立術を披露した。料理を効率よくこなすため、オーブンでの同時調理や大量調理からのリメイク術を活用しているほか、夫の庄司智春氏が料理を作るなど家族で協力するエピソードも紹介された。

家事分担（とも家事）の秘訣としては、夫にやり方を具体的に伝え、感謝をしっかり伝えるコミュニケーションの重要性を強調。「自分の心の健康のために、できない時は潔く休む」という姿勢は来場者の大きな共感を呼んだ。また、子どもの野菜嫌いには切り方を変えるなどの工夫をしつつ、「保育園で食べられているなら家では甘えさせていい」という大らかな子育て論を語り、セルフケアについても「3食食べ、しっかり寝て、よく笑うこと」という基本の大切さを説いた。

後半のお悩み相談コーナーでは、仕事帰りの時短栄養料理として「つまみ食い感覚ですぐ出せる野菜などがおすすめ」と答え、食事中にふざけてしまう子どもに対しても「家では甘えさせてあげて、食卓が楽しい場所であることが一番」と温かいアドバイスを送った。

最後に藤本氏は、「食育を難しく考えすぎず、できる時にできることをすれば大丈夫。お母さんやお父さんが笑顔で、家族で食事を楽しめる時間を大切にしてください」と呼びかけ、育児や家事、食生活に悩む人々の心が軽くなるような前向きなメッセージとともに幕を閉じた。

パブリックビューイング



トークショーの様子は、ブレックスアリーナ宇都宮のメインアリーナにおいて、パブリックビューイングとして中継されました。

とちぎ育ちのうんまいもの!クッキングショー　14:00～15:00



ホテルエピナール那須総料理長の荒井皇文氏と、ゲストにU字工事の福田薫氏、益子卓郎氏を迎えたクッキングショーが開催された。

栃木県が誇る農産物のPRと食育の推進を目的とし、「とちぎの食と農業アクションプロジェクト地産地消レシピ&フォトコンテスト」で最優秀賞に輝いた「とちぎっこはぐくみプレート」の中から、家庭でも手軽に作れる「トマチーたまごやき」がプロの指導のもと実演された。

ステージでは、昭和55年から東京都中央卸売市場での出荷量日本一を誇る「ニラ」や、冬春トマトの生産量が全国トップクラスの「トマト」、本州第1位の生乳生産量を誇る「ミルクの国・とちぎ」、那須ブランドに認定されたコクのある「那須御養卵」など、栃木の豊かな農畜産物が紹介された。

調理実演では、荒井総料理長から「お尻のスターマークが甘い証拠」というトマトの選び方や、余分な水分を取ることで水っぽさを防ぎ旨味を凝縮させる下処理、強火で一気に巻き上げる焼きのコツなどのプロのテクニックが伝授された。とちぎ未来大使であるU字工事の二人は、軽妙な地元トークを交えながら手際よく調理を行い、福田氏は強火での一気巻き、益子氏は絶妙な半熟加減の卵焼きを完成させ、会場を大いに盛り上げた。

完成した「トマチーたまごやき」と、ニラやアスパラガスを使った「とちぎ恵みの彩り丼」の試食では、肉やニラの力強い味わいをトマトの酸味と甘みがさっぱりと引き立てる抜群の相性が披露された。

最後に荒井総料理長から、「食材の魅力はそれを作る『人の魅力』でもある。短時間で安価に作れるレシピなので、ぜひご家庭でも栃木の豊かな恵みを味わってほしい」とのメッセージが送られ、盛況のうちに幕を閉じた。

みのりステージ　マロニエプラザメインホール

引継式　15:45 ～ 16:00





主催者挨拶（概要）

栃木県農政部長　廣川 貴之

本日は、第21回食育推進全国大会inとちぎに、県内外から多くの皆様にご来場いただき、誠にありとうございます。出展者をはじめ、関係する皆様のご支援とご協力により、このような素晴らしい大会となりましたことを、心より御礼申し上げます。

本大会では、「とちぎからつながる恵みの輪」をテーマに、食と農のつながりの大切さや、それらが私たちの健康な体と心を支えていることを、さまざまなプログラムや展示を通して実感いただけたものと思います

こうした学びや気づきを、それぞれの地域や日々の暮らしの中で実践し、さらに広げていくことが、食育の輪を次の世代へとつないでいく力になるものと確信しております。

栃木県といたしましても、豊かな自然に育まれた多彩な食と農の魅力を広く発信しながら、生産者と消費者をはじめとしたさまざまな関係者をつなぐ食育の取組を、引き続きオール栃木で推進してまいります。

次回、第22回食育推進全国大会は、来年横浜で開催される国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」の会場内で開催される予定でございます。食と農、自然と環境が一体となった中で、新たな学びや出会いが生まれ、食育の可能性をさらに広げる機会となることを期待申し上げます。

結びになりますが、本県で生まれた食育推進の大きな流れが、栃木から人へ、地域へ、そして未来へとつながっていくことを願います。



主催者及び次回開催者挨拶（概要）

農林水産省大臣官房審議官　澤井景子

本日は、第21回食育推進全国大会に多くの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございます。開催に当たり多大なるご尽力をいただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

食育は、まさに地域の皆様の日々の活動によって支えられ、進められているもの。しかしながら、現代の生活では、私たちの食卓と生産現場との距離がどうしても遠くなりがちです。

そのような中、今回の大会は、農業県である栃木県の魅力を存分に生かしながら、「食」と「農」のつながりを感じることができる大会となりました。全国から集まった来場者の皆様が交流しながら楽しんでいただける、大変意義深い大会であったと思っております。

さて、来年につきましては、すでにご案内がありましたとおり、横浜市において「GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）」が開催されます。この博覧会は、「幸せを創る明日の風景」をテーマに、花や緑、農、食を通じて、持続可能な未来の実現を目指すものです。

そして、このGREEN×EXPOの会場において、令和9年（2027年）6月26日（土）に第22回食育推進全国大会を開催いたします。

栃木県からのバトンをしっかりと引き継ぎ、食育の推進とGREEN×EXPOの魅力を一体となって発信していきたいと考えております。来年はぜひ横浜の会場で、皆様とお会いしたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

歌う海賊団ッ!ステージショー　16：20～16：50





歌う海賊団ッ！のステージショーでは、親子連れを中心にたくさんの方に観覧いただきました。最後はボランティアスタッフも含めて、全員でダンスを踊り、会場が一つになりました。

きずなステージ　マロニエプラザ展示ホール

栃木県女性農業士＆栃木県農業士会presents 食育紙芝居「牛さんからのプレゼント」

10：30～11：00

栃木の恵みと牛のすばらしさ

栃木県女性農業士会による、牛の一生やミルク・農業の仕組みを楽しく学べる紙芝居の読み聞かせが開催された。

女性農業士のみなさんが紙芝居の登場人物を感情豊かに演じ、命の誕生から牛乳が食卓に届くまでの過程について分かりやすく伝えた。

約10ヶ月の妊娠期間を経て生まれた子牛は約40kg（人間の赤ちゃんの約10倍、お母さん牛は600～700kg）もあり、誕生後は母牛がすぐに体を舐めて立ち上がらせ、初乳を飲ませる様子が描かれた。乳牛が子牛を産んで初めて牛乳が出る仕組みや、朝夕の搾乳・牛舎の掃除、昼の乳牛草作りといった農家の日常の仕事が紹介された。

また、牛が4つの胃で行う「反芻（はんすう）」や、1日に50～60kgの草や濃厚飼料を食べる様子、ウンチやオシッコが良質な肥料となって作物を育てる「循環型農業」についても解説された。子牛を産み終えた牛がお肉や革製品として最後まで人々の生活に役立っていることなど、牛の命と恩恵に対する深い感謝が語られた。

後半では、栃木のブランド米「とちぎの星」をはじめとする、地元産の農畜産物の魅力がPRされ、最後には子牛の体重や牛乳・エサの量に関するクイズで会場は大いに盛り上がった。





自然に健康になれるとちぎ食の環プロジェクト 知事宣言＆シンポジウム

11:15～12:45

県民が安心して豊かで幸せに暮らせる活力あるとちぎの実現に向けて、良好な栄養・食生活の実践と環境づくりを推進するため、「自然に健康になれるとちぎ食の環プロジェクト」の知事宣言式および記念シンポジウムが開催された。

式典では、福田富一栃木県知事が、健康・農・環境など分野横断による産学官等の多様な主体が一体となり、誰もが自然に健康になれる食事や食品を選択できる環境づくりを広めていくことを宣言した。会場では、チームとちぎ食の環キャラクターである「資源くん」と「栄養ちゃん」が紹介され、知事をはじめ参加者全員で「食の環ポーズ」による記念撮影を行い、オールとちぎによる取組をスタートさせた。

続いて、記念シンポジウムでは、淑徳大学看護栄養学部栄養学科准教授の坂口景子氏から健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向けた食環境整備の重要性に関する御講演をいただき、その他、減塩食品や栄養バランスの良い弁当開発の取組として、江崎グリコ株式会社や株式会社日本栄養給食協会から取組紹介がされた。

県では、「自然に健康になれるとちぎ食の環プロジェクト」のもと、健康分野にとどまらず、地産地消や食品ロス削減などの観点も取り入れながら、部局横断的な食環境づくりを推進するため、食環境の実態把握を目的とした調査事業や、地域事業者と連携した登録事業の創設、庁内及び産学官によるネットワークづくり等の取組の説明が行われた。

本イベントを通じて、「自然に健康になれるとちぎ食の環プロジェクト」の取組や多様な主体が一体となり、県民の健康的な食生活を支える食環境づくりを推進していく決意が共有された。





きずなステージ　マロニエプラザ展示ホール

宇都宮大学×農林水産省presents 食から考える持続可能な農の未来~No Farms No Future~ 昭和100年記念イベント

13:00~14:45





昭和100年という節目の年にあたり、戦後の「食と農の断絶」を見つめ直し、未来を切り開くためのシンポジウムが開催された。

宇都宮大学農学部の西山未真教授による趣旨説明では、生産から消費までの距離が遠くなり誰が作ったかを意識しにくい現代において、心身ともに健康で持続可能な社会を実現するためには「食と農の繋がり」を再構築することが不可欠であると説かれた。その具体的なツールとして、高知県四万十町で発案された地元の豊かな食材と絆を表現した「かそべん」の取り組みが紹介された。

続いて、各地域を代表する団体から以下のような個性豊かな「かそべん」の特徴とこだわりが発表された。足利一すみだつながる弁当では地元の豊かな農産物や郷土の食文化を取り入れたバランス抜群のメニュー構成により地域の強い絆が表現され、鹿沼市加蘇地区なゆた会では特産品のこんにゃくや季節の野菜などを活用して家庭の温かみと地域の食文化をしっかりと詰め込んだ心のこもったお弁当が展開された。茂木町森と里のつながるマルシェ実行委員会からはとちぎシフォンや特製の鶏唐揚げ、地元の農産物をふんだんに使用し生産者の顔が見える安心・安全なお弁当が提案され、高知県四万十町「おかみさん市」では「かそべん」発祥の地の豊かな食材と生産者の愛情をそのまま形にして遠く離れた栃木の会場へと届けられた特別な一品が披露された。

後半のグループワークではお弁当の試食を通じて食の魅力や課題についての意見交換が行われ、最後には栃木県から全国へ向けて「食と農の絆」を再構築する持続可能な食環境づくりのモデルを発信していくことが確認され、盛況のうちに幕を閉じた。

いちご研究所×栃木県みつばち協議会presents いちご学セミナー

15:00~16:10





日本一のいちご生産量を誇る栃木県の全国で唯一のいちご専門研究機関であるいちご研究所と栃木県みつばち協議会による、みつばちといちご栽培の深い関わりについての講演が行われた。

いちご生産量日本一を誇る栃木県において、「とちあいか」をはじめとする品種開発の裏側が紹介された。「とちあいか」は、甘みと酸味のバランスが良く輸送に強い適度な硬さを持ち、従来比約1.3倍の収穫量を誇る。一つの品種誕生には15~20年の歳月が必要であり、今後は県外・海外への販路拡大が展望されている。

また、いちごの甘い部分は「花床（かしょう）」であり、表面のツブツブが本当の果実であるという植物学的特徴が解説された。バラ科に属しリンゴやモモと親戚関係にあるいちごを含め、作物の実りにはミツバチによる受粉が不可欠である。ミツバチと植物の「相利共生」関係を通じて、人間が口にする農作物の約7割が昆虫の受粉に支えられているという自然循環の重要性が強調された。

講演の合間には、みつばちの生態やいちごの歴史に関するクイズ大会も実施され、会場は盛り上がりを見せた。また、来場者にははちみつの食べ比べセットが配布され、それぞれの特徴について説明を受けながら試食を行い、味の違いを楽しんだ。

ワークショップ・体験 コンテンツ　マロニエプラザ大展示場

農業総合研究センターpresents のうぎょうラボ in 食育大会

10:00～15:00 体験会 ※材料がなくなり次第終了
15:00～17:00 展示説明

トマトの糖度測定や押し花のしおり作成、いちごのＤＮＡ抽出体験等を通して、農業と植物のひみつを体験。



ペーパークラフトで サイコロ型みつばちを作ろう

11:45～12:45

ペーパークラフトの作成を通じて、いちごの受粉作業におけるみつばちの大切な役割を学んだ。



［協力］栃木県みつばち協議会

衛生管理のプロが教える 弁当の作り方セミナー

14:30～15:00

毎日のお弁当をもっと安心できるものにするため、衛生管理のプロが、家庭で役立つ弁当づくりのコツをわかりやすく説明。



［協力］とちぎ弁当連絡協議会

生間流 庖丁式

10:30～11:30

平安時代から続く伝統的な日本の食の儀式を実演することで、日本の伝統的な調理技術とともに、和食の歴史や文化を学んだ。



こども模擬セリ体験

小学生3年～6年生　30名限定
13:15～14:00

市場で実際に行われている「セリ」の流れを、こどもたちが体験しながら食品の流通過程について学んだ。



［協力］東一宇都宮青果株式会社

親子で食品安全を学ぼう!

15:15～16:00

食品表示のクイズや、正しい手洗いの練習を通じて食品安全について学んだ。



ワークショップ・体験 コンテンツ　マロニエプラザ屋外展示場

鮎つかみどり体験

年長児～小学6年生　120名限定

栃木県が漁獲量全国トップクラスを誇る鮎のつかみどり体験を実施し、生きた鮎に直接触れる貴重な機会を提供した。
子どもたちは、命と食の大切さを学ぶとともに、体験後は鮎の塩焼きを味わい、会場は大いににぎわった。



［協力］栃木県漁業協同組合連合会

［対象・時間］
①対象　小学3～6年生
10:15～10:45／11:45～12:15／13:30～14:00／15:00～15:30
②対象　年長児～小学２年生
11:00～11:30／12:45～13:15／14:15～14:45／15:45～16:15
［定員］
各回15名

ワークショップ・体験 コンテンツ　宇都宮白楊高等学校

とちぎ食育応援団と親子でミルクレープ作り! いちご料理教室

10:00～12:00
14:00～16:00　［定員］各回10組40名

とちぎ食育応援団と一緒に、県産いちごを使って、甘くておいしいミルクレープを作った。
生産者の話を直接聞ける食育講話を実施した。



［協力］とちぎ食育応援団
県内いちご生産者

たまねぎ収穫体験

11:00～11:45
12:30～13:15　［定員］各回30組
14:00～14:45

宇都宮白楊高等学校農業経営科の生徒が、丹精込めて育てたたまねぎの収穫体験を実施。
参加者は生徒による生産過程や収穫・調整方法の説明に熱心に耳を傾け、食と農業のつながりを学んだ。小さな子どもも一生懸命に収穫する姿が見られた。





［協力］栃木県立宇都宮白楊高等学校

ワークショップ・体験 コンテンツ

会場5か所で、食育に関するナゾを設置し、ナゾトキラリーを実施。
全問正解者と、キヤノン臨時駐車場で配布された抽選券を持っている方を対象に、県産農産物などが当たる抽選会を実施。

とちぎ食育ナゾトキラリー&抽選会











47都道府県食育ポスター展示

47都道府県が行っているさまざまな食育への取組を、
ポスターで紹介。



47都道府県食育ポスター展示

























































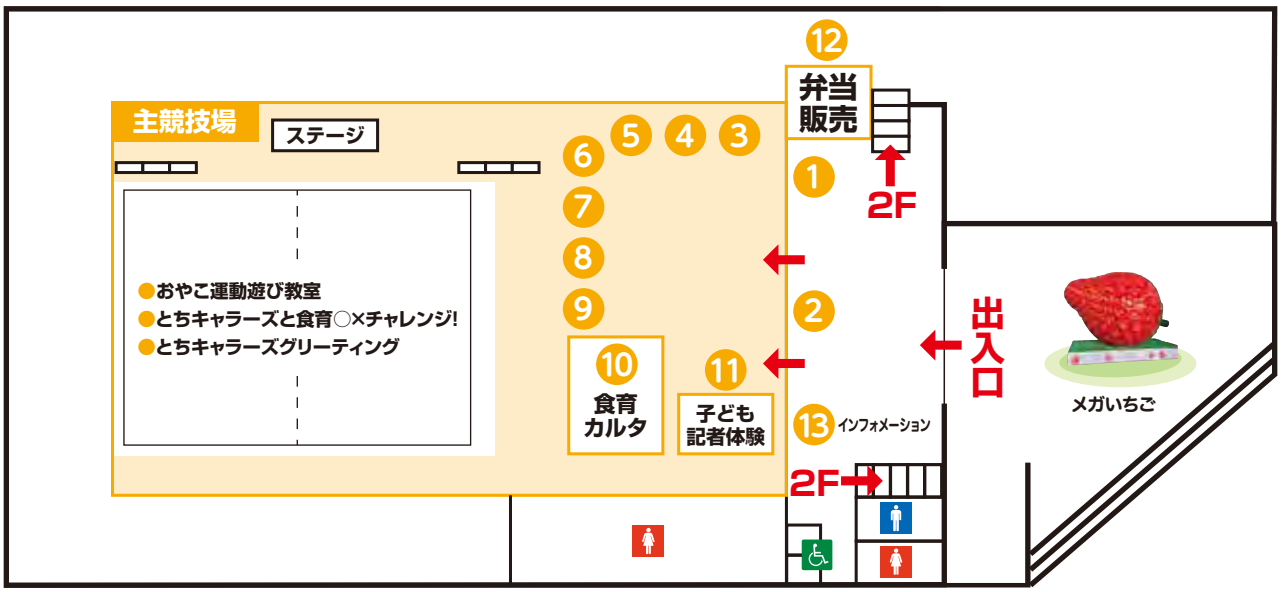







ブレックスアリーナ宇都宮

ブレックスアリーナ宇都宮会場 レイアウト



ブース名

1 栃木県観光物産協会／栃木県産業労働観光部観光交流課
とちぎ特産品の販売、観光情報のご紹介！



2 農村めぐり（栃木県農政部農村振興課）
農村を楽しむスポット紹介、ノベルティ配布



3 栃木県環境森林部気候変動対策課
射的でチャレンジ！15アクション



4 栃木県農業大学校
VRで農業体験！
(梨の摘果作業にチャレンジ)



5 栃木SC
チームPR



6 H.C.栃木日光アイスバックス
チームグッズの販売、PR



7 レーヴィス栃木
チームグッズの販売、PR



8 栃木ゴールデンブレーブス
チームグッズの販売、PR



9 三重ホンダヒート
チームPR
※令和8年7月1日から「栃木ホンダヒート」へ名称変更



10 子ども記者体験
10:30～12:30
14:00～16:00



栃木県女性農業士&栃木県農業士presemts
11 食育カルタ
11:30～12:00
13:40～14:10
14:50～15:20
参加者に 栃木県産 米2合 プレゼント 数量限定



12 主役は県産米「とちぎの星」！「とちぎの五ツ星弁当」販売



ブレックスアリーナ宇都宮

食育キャプテンと楽しく体を動かそう♪ おやこ運動遊び教室

10:30～11:30
14:00～15:00
15:30～16:30

県内で活躍するスポーツチームの選手、
スクールコーチなどから直接レクチャー。

［時間・参加チーム］

①10:30～11:30　【主に未就学児】
（宇都宮共和大学/宇都宮ブレックス/H．C.栃木日光アイスバックス）
②14:00～15:00　【小学校低学年】
（栃木ＳＣ/レーヴィス栃木）
③15:30～16:30　【小学校低学年】
（栃木ゴールデンブレーブス/三重ホンダヒート）

［内容］

・幼児の発達段階に応じた多様な運動遊びを取り入れたレクリエーション
（①10:30～11:30のみ）
・食育キャプテンによる指導で競技を体験できるスポーツ教室
（①②③すべての回で実施、参加チームは各回で異なります。）

宇都宮ブレックス　H.C.栃木日光アイスバックス　栃木SC
レーヴィス栃木　栃木ゴールデンブレーブス　三重ホンダヒート※

※令和8年7月1日から「栃木ホンダヒート」へ名称変更




宇都宮ブレックス


H.C.栃木日光アイスバックス


栃木SC


レーヴィス栃木


栃木ゴールデンブレーブス


三重ホンダヒート
※令和8年7月1日から「栃木ホンダヒート」へ名称変更

とちキャラーズと 食育○×チャレンジ!

11:50～12:15

かわいいとちキャラーズやスポーツチームのマスコットたちと、とちぎの食と農を学べる○×クイズを実施。



とちキャラーズグリーティング

13:50～13:45
15:00～15:15

とちぎの魅力を発信するカワイイキャラたちがお出迎えし、親子づれが会場でふれあった。





栃木県女性農業士&栃木県農業士会presents 食育カルタ

栃木県女性農業士会が制作した、食育について学べるカルタ大会を実施した。

10:30～11:30　1回目【対象:主に未就学児】
14:00～15:00　2回目【対象:小学校低学年】
15:30～16:30　3回目【対象:小学校低学年】

